

広報 なかやま



なかやま雪中カルタ大会 (4ページに詳細)

今月の主な内容

- 住所変更などの届出をお忘れなく P 2~3
- なかやま雪中カルタ大会 P 4
- 女性まつり P 5
- 町議会行政視察研修報告 P 6~7
- 県生活協同組合連合会と災害協定締結 P 8

2013
3
平成25年
No.702



趣味のひろば ~第22回~ 倭楽



昨年11月のひまわり荘慰問

★今年八坂神社例大祭は4月14日(日)です。みこしの担ぎ手も募集しているようです。

★活動場所 柳町公民館、川端公民館

★会員数 11名

★倭楽保存会に入会を希望する方は秋葉芳樹さん(☎662-2228)まで。

また、巫女舞としてご協力いただける方は工藤トシ子さん(☎662-2206)まで。

★主な活動 巫女舞の皆さんと共演しながらの八坂神社例大祭、芸文祭への参加と、その本番前に週1回ペースで練習。その他、地域での演奏、慰問等。

★代表 表 秋葉芳樹(上町)

「今年「倭楽保存会」の皆さんをご紹介します。設立は戦前にさかのぼり、昭和10年頃。現在3世代目で名前の由来は大和の国「春日大社」の流れを汲んでいます。八坂神社に所属し、町の芸術文化協会に加入しています。会員は20歳代から80歳代までの幅広い年代。一緒になって和気あいあいと活動を行っています。会員の方に「倭楽をやっているよかったです」と聞くと、「八坂神社の伝統を継承でき、町の歴史等を学ぶ機会や地域の人々と触れ合うことができると。また、ボランティアでひまわり荘などを慰問し、入居者の方々に喜んでいただけたことがとてもうれしかった」と話してくれました。



練習風景

紹介したい趣味をお持ちの方は、総務企画課情報防災グループ(☎662-4899)までお知らせください。また、このコーナー以外でも、あなたの趣味で創作、撮影した自慢したい作品を町ホームページ「あがらっしゅいギャラリー」のコーナーに展示することができます。応募方法など詳しくは町ホームページ⇒「あがらっしゅいギャラリー」(<http://www.town.nakayama.yamagata.jp/kouryu.html>)⇒「利用のきまり」をご覧ください。

町に対するご意見をお寄せください!

- ひまわりポスト** 役場、中央公民館、保健福祉センターの窓口に設置してあるほか、町ホームページからもメールで送信できます。
- ひまわり直行便** 平成24年7月15日号「広報なかやま」に折りこんだ料金後納ハガキに記載のうえ、ポストに投函してください。

広報
なかやま 平成25年3月15日号(毎月15日発行)

「広報なかやま」の文字書体は誰にでも読みやすいユニバーサル書体を使用しています

発行 中山町 〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地
編集 総務企画課情報防災グループ
電話 (023)662-4899(直通) FAX(023)662-5176
町公式ホームページ <http://www.town.nakayama.yamagata.jp>
(「広報なかやま」「お知らせ版」はホームページでもご覧になれます)

③番 国民健康保険窓口

大学や専門学校などへの進学により、家族と住所を別々している場合は、『**学**国民健康保険被保険者証』を交付しますので、届出を行ってください。また、卒業した場合も忘れずに届け出てください。

- 持参する書類 学生証または在学証明書の写し、保険証、印鑑
- ※対象者の現住所及び在学する学校の名称・所在地を控えてきてください。

②番 国民年金相談窓口

20歳以上の学生や自営業などの国民年金第1号被保険者の方が納める平成25年4月からの保険料は月額15,040円です。保険料を納めないでいると老後の年金だけでなく、障がい者や遺族になったときの保障も受けられなくなってしまいますので、忘れずに納めるようにしましょう。

また、所得が少ない、お仕事をやめたなどの理由で保険料の納付が困難な方は、「免除制度」をご利用ください。免除申請がお済みでない方はお早めに申請してください。

- 免除の種類と期間
 - 学生納付特例 免除期間 平成25年4月～平成26年3月
 - 一般免除 (全額免除、若年者納付猶予(30歳未満の方)、4分の3免除、2分の1免除、4分の1免除) 免除期間 平成25年7月～平成26年6月
- 必要なもの
 - ・窓口に来られる方の年金手帳または免許証等の公的な身分証明書、学生証または在学証明書の写し(学生納付特例申請の場合)
 - ・申請者の印鑑



住民票や印鑑証明書などの証明書は 窓口延長時や保健福祉センターでも発行しています

- 役場①番窓口 月～金曜日(祝祭日を除く)午前8時30分～午後5時15分 毎週火曜日・木曜日(祝祭日を除く)は午後7時まで窓口を延長しています(証明書の発行のみ)
- 保健福祉センター窓口 住民票謄・抄本、戸籍の証明書、印鑑登録証明書、税務関係証明書の交付 月～金曜日(祝祭日を除く)午前8時30分～午後5時

町ホームページから届出様式をダウンロードすることができます



各種届出の詳しい説明や様式は町ホームページトップページ⇒「届出・証明」をご覧ください。

電話予約による休日受け取り

月～金曜日(祝祭日を除く)午前8時30分～午後5時までに住民税務課住民グループ(☎662-2598)に電話予約していただければ、土・日・祝日に役場宿直室で住民票謄・抄本、印鑑登録証明書、税務関係証明書をお受け取りいただけます(戸籍は除きます)。

- 受け取り時の持ち物 印鑑、手数料、運転免許証等の顔写真付身分証明書など、印鑑証明書の場合は印鑑登録証

①番 戸籍・住民窓口

住所や世帯に変更がある時は、 住民異動届をお忘れなく

住所は実際に住んでいるところに登録します。居住しているところが変わる時は届出が必要です。

また、世帯主を変更するなど、世帯の内容に変更があった時も届出が必要です。

- 手続き場所 役場住民税務課①番窓口

届出の種類	届出の期間	届出に必要なもの
転入届	中山町に住み始めた日から14日以内	◎窓口に来られる方の本人確認書類(運転免許証、住基カード、パスポートなど。お持ちでない場合は、保険証、預金通帳、年金手帳などを2つ以上)
転出届	他市区町村へ異動する前	◎印鑑
転居届 (中山町内での異動)	住み始めた日から14日以内	◎転出証明書(転入届のとき) ◎印鑑登録証(転出届のとき) ◎国民年金手帳(加入者) ◎国民健康保険証(加入者) ◎後期高齢者医療被保険者証(該当者)
世帯内の変更届	世帯主変更届、世帯分離届、世帯合併届 変更があった日から14日以内	◎印鑑 ◎国民年金手帳(加入者) ◎国民健康保険証(加入者) ◎後期高齢者医療被保険者証(該当者)

※「世帯」とは「居住と生計をともにする社会生活上の単位」をいいます。
※「世帯主」とは「主として世帯の生計を維持する者であって、その世帯を代表する者として社会通念上妥当と認められる者」です。

※同じ世帯の方であれば、届出することができます。届出する人が同じ世帯でない場合は、本人からの委任状が必要となります。

※お問い合わせ・お手続き先
役場①～③番窓口(住民税務課 住民グループ) ☎662-2593

転入・転出などの異動シーズンです
住所変更などの届出をお忘れなく



2月3日、「第26回なかやま雪中カルタ大会」が町民グラウンドで開催され、500名を超える町内の小学生とその保護者らが雪上の熱戦に参加しました。

冬の恒例となったこの行事は「カルタを通してふるさとを理解し、愛する心を育む」ことを目的に、青少年育成町民会議や子ども育成会などが協力して行っているものです。

町内14地区が3ブロックに分かれ、読み手が3つの札を読み上げると、合図で一斉にスタート。

当日は青空が広がりましたが、時おりカルタが舞い上がるほどの強風。それにもめげず、読み札が読み



「九左工門家昔をしのぶ大庄屋」などの3つの札が読み上げられると、カルタとりがスタート！



上げられると元気いっぱい、いっせいに走り出し、白い息を吐きながら懸命に札を探す子どもたち。目的の札を見つけると歓声をあげ、雪の上を元気いっぱい走り回っていました。

中山町オリジナル『なかやまカルタ』好評販売中です！



なかやま雪中カルタ大会で使われている「なかやまカルタ」の販売を行っています。

昭和60年に作成された「なかやまカルタ」には、ふるさと中山町の歴史や伝統行事、子どもたちに知ってほしいマナーが書かれており、郷土愛と健全な心が子どもたちの心に育ってほしいとの願いが込められています。

この機会にぜひお買い求めいただき、ご家庭でカルタを楽しんでみてはいかがでしょうか。

●中央公民館窓口、ゆ・ら・ら、 でお買い求めいただけます。 価格1,000円(税込)

※お問い合わせ先 教育課生涯学習G ☎662-2235



※Cブロックの2位・3位はプレーオフによる。

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック
1位	土橋分団	1分団 (達磨寺、向新田)	小塩分団
2位	あおば分団	5・6分団 (三軒屋、落合、文新田)	岡分団
3位	4分団 (北小路、西小路、西町、南小路)	3分団 (旭町、川端、下川、柳町、中町、中原、広瀬)	金沢分団
4位	2分団 (新田町、新町、上町、元町)	いずみ分団	柳沢分団
5位	桜町分団	—	梅ヶ枝町分団

町内の女性の力を結集 女性まつり

2月11日、町女性団体連絡協議会主催の女性まつりが中央公民館で開催され、それぞれの分野で活躍する町内女性の力を結集させました。来場した方々は思い思いに各コーナーを巡り、イベントを楽しんでいました。

●販売コーナー
入り口付近では「Aやまがた豊田支店生産学級による漬物・野菜・しみ餅・果物などの農産物や加工品等の販売コーナーが設置され、

試食をしながら面白い物を楽しむ人の姿が多く見られました。また、「キノノを楽しむ会」はつまみ細工・作り帯・編み物など自慢の作品を販売しました。

●包丁研ぎコーナー
持ち込まれた包丁の切れ味がよみがえり大変よろこばれました。

●食生活改善推進員による料理展示コーナー
缶詰を活用し工夫を凝らした料理に、訪れた人は興味深げに見入っていました。

●試食コーナー
ステージ発表が終わってお腹がすいてくるお昼時には、地産地消をテーマに地元産の米で作ったおにぎりが来館者に配られました。



●体験コーナー 毛糸を使ったエコタワシ作り(写真左:消費生活研究会)、風呂敷講習会(写真右:商工会女性部)、つまみ細工でパッチンドめ(髪留め)作り(キモノを楽しむ会)といった様々な体験コーナーが設けられました。



●展示コーナー 各団体と町内の女性による生け花や寄せ植え、パッチワークなどの作品を展示。



●ステージ発表 大ホールでは町内の女性グループ等による太極拳・踊り・民謡などの様々なステージ発表が行われ、それぞれが活動の成果を披露しました(写真はさわやかひまわり会による、るんるん3B体操)。



●「楽しく学ぶ消費者講座」中山町消費生活専門相談員の熊谷祐子氏を講師に、劇団「やまのべ」の寸劇と合わせて消費者トラブルについて楽しく学びました。



●講演会「昭和のくらし博物館からみえること」昭和のくらし博物館館長の小泉和子氏を講師に衣食住や家事、食卓の様子、裁縫の様子を具体的にスライドを見ながら紹介。なつかしい昭和のくらしの話に聴衆は興味深そうに熱心に聞き入っていました。

町議会行政視察研修報告

2月6日から7日の2日間、町議会の中山中学校改築特別委員会による行政視察が行われました。その視察内容について報告します。

●福島県小野町（小野中学校）

（中山中学校改築特別委員 鎌上 徹）

2月6日に視察した小野町は阿武隈山地の南部に位置し、郡山市・いわき市等3市1町に隣接しており、起伏の多い丘陵地帯にあります。人口は1万1229人（今年度当初）、面積は125.1km²です。

小野中学校は小野新町中学校、夏井中学校、飯豊中学校の3校が統合され、昭和43年に校舎、昭和44年に屋内運動場が完成した当時、全校生徒1000人を擁する大規模校としてスタートした学校でした。

その後、校舎施設の老朽化が進み、平成12年度に耐力度調査、平成15年度に耐震診断等の検査を受けたところ、いずれにおいても基準を下回り、早急の改築工事を行う必要が生じたために改築工事を決定しました。

平成20年 拡張用地を取得
平成21年 校舎実施設計完了
平成22年 普通教室棟・管理棟完成
平成23年 特別活動室棟・給食センター棟・屋内運動場・特別教室棟完成
平成24年 プール完成

小野中学校も少子化の波にあり、昭和43年当時1000人いた生徒数が、現在では291人と激減している中での改築工事となりました。

建設設計
業務の業者選定はプロポーザル方式をとり、選定委員には町長、教育委員長、担当職員、校長、基本コンセプト



委員等が参加し選定したとのことでした。

関係機関の意見を幅広く聞き取り選定したことについては当町も見習い、見かけだけではなく、生徒や教師の意見を取り入れることができる業者の選定を希望するところです。

工事の発注形態は町企業の受注機会の拡大や将来のメンテナンスなどを考慮し、従前の町同種工事のとおり分離発注方式としました。校舎・屋内運動場とも、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事を分離したものでした。町の企業への受注機会を積極的に広げていることについては、当町も取り入れるべきではないかと思えます。

分離発注方式にすると、事務手続きや事業費が増えるとか、監理が大変になるという問題もありますが、地元企業に仕事をもらうことによる今後10年、20年先の

施設メンテナンス等を考えても、ぜひ取り入れたい方式です。

建設費は鉄筋コンクリート2階建ての校舎が給食センターを含め9億9197万5000円（予算額12億3000万円）、屋内運動場が武道場を含め2億5644万円（予算額3億円）でした。



町有財産の間伐材の積極的活用により資材代が抑えられており、当町と同等規模の中学校でありますが、コスト的にも中山中学校改築の参考にしてもいい学校だと思います。

ただし、小野中学校の改築事業は東日本大震災以前の事業のため、あくまでも金額は参考程度に

しておかなければいけません。

教室の廊下部分はガラス張りできるとあってあり、可動式の間仕切りにより、学年ホールとして利用できるようになっていきます。学年4クラスをユニットとして、学年ホールを含め学年ごとに特徴を持たせた教育を目指しているものです。音楽室や理科室、家庭科室、多目的ホールは、2室ずつ用意されています。屋内運動場に関しては、木材を多用していますが、狭さを感じました。

小野中学校は単なる教育施設ではなく、町の公共施設として、地域との調和、コミュニティの拠点としての施設整備を目標としていました。

今後、私達の中山中学校も、町の拠点としての役割が強くなっていくと思われ、公共施設の1つとして町民にも広く開かれた施設を目指さなければならぬと感じました。

●福島県矢吹町（矢吹中学校）

（中山中学校改築特別委員 渡辺博文）

2月7日は、矢吹町立矢吹中学校を視察しました。

矢吹町は福島県の南部に位置しています。町の人口は1万7887人（今年度当初）、総面積は60.37km²で、三方を阿武隈川、隈戸川、泉川が流れ、羽鳥ダムの水を利用した農地が町の面積の半分を占めています。空港・高速道路・鉄道の交通体系に恵まれているほか、町内を国道4号が通り、主要地方道6本が集結するなど、南東北の玄関口として、産業・流通ともに重要な役割を担っています。

矢吹中学校は、校舎・体育館ともに東日本大震災直後の3月25日に完成しました。3月11日の午後、全校児童が下校直後に震度6弱の地震の直撃を受け、旧校舎は甚大な被害を受けましたが、完成間近な新校舎は無傷だったようで、奇跡の間一髪だったようです。

●設計（基本設計・実施設計）建築等で特に考慮した



点は、○給食棟を残し既存校舎を活用しながらの改築○敷地内の段差を生かした設計○開発許可制度に該当しないように設計○広いアリーナを有した体育館を整備○屋内プールを整備というのがテーマだったようです。

●概要・事業費・建設面積については校舎Ⅰ期工事・Ⅱ期工事合わせて約7000m²で15億円強、体育館約2000m²で5億円弱、屋内プール・武道場合わせて約2000m²で5億円強、解体費が約1700万円です。その他工事を含め総工費は32億円ということ、中山中学校の改築事業規模と近いものです。

●発注方法については、全て指名競争入札で、基本的には全て地元業者優先という方向だったらしいのですが、スクールニューディール構想を最大限に生かすために工期の関係上、本体工事は大手ゼネコンにならざるを得なかったとの話がありました。補助金を最大限確保するために、解体・建築を繰り返し最終的に全体完成という方式を取って完成させたので、工期中の騒音は多少授業に影響したとのこと。

授業中に内部を視察させていただきましたが、木質化を前面に押し出しているため、床・壁・建具他、木の温もりが暖かい内装で、屋内プール・武道場・体育館は中学校の施設とは思えないくらいに広くて豪華、トイレについては全て全自動で大理石まで使用してありました。その施設が生徒に好影響を与えているらしく、生活態度・授業を受けようとする態度が旧校舎の時よりも目に見えて良いものになってきているということです。

終わりにですが、敷地入口に放射線を計る線量計があり、0.1マイクロシーベルト（毎時）を表示しており、校内に防護服が掛けてあったことが、どうにも悲しく悔しい思いです。



第72話 強壯人頭取と豪農

中山町 歴史散策

慶応2年(1866)7月、天童東方の関山峠に向かう街道沿いの山間部を中心に無宿共の一揆、いわゆる「兵蔵騒動」が起こりました。

このため、同年8月、代官山田佐金次は「文久農兵」に代わる新しい「強壯人」取立制度をはじめました。

強壯人は、柴橋陣屋の場合、筆頭の頭取が10人で文久の農兵頭と同数で同じ人が任命されていますが、組人数は50人と減じられています。しかし、頭取の判断で自身の支配下から50人を選び、実質100人とする方法が取られるなど頭取の権限が強化された点は文久の農兵組織とは大きく異なる点でした。

非常の際の合図は、①まず陣屋の半鐘から村ごとに打ちつぐこと、それにより強壯人は頭取のもとに駆けつけること。②異変の場所がわからないときは陣屋へ申し出るとともに人数は全部揃わなくても速やかに行動すること。③組人数50人の中には5人ごとに小頭役を決めること。④兵糧

は必ず1食を準備し、出張場所では村役人・頭取などへ「焚き出し」を申し入れること。また、慶応4年2月には、強壯頭取にとってもうひとつ重大な変化がありました。それは、これまで村山郡内の主として経済統制にあたってきた「郡中総代」を排し、代わって「郡中村々取締役」を置いたことでした。

「取締役」がこれまでの「総代」と違う点は村々の警備・探索を主とすることでした。

この当時、慶応3年10月には將軍徳川慶喜の大政奉還、慶応4年1月には鳥羽・伏見の戦いが起こり、また1月末には新政府の勢いが東北に及ぶなど村山郡幕領の立場は極めて微妙なところであり、村山郡幕領の「取締役」の設置は、その中で最後の統制手段でした。

※参考 中山町史 中巻 第8章第2節 幕末の騒動と農兵制

中山町と山形県生活協同組合連合会 災害時における物資の提供等に関する協定を締結



協定書を取りかわす大津町長(右)と山形県生活協同組合連合会の松本会長理事(中央)

町は災害が発生した際に優先的に飲食物や日用品、ボランティア活動の支援を受けられる災害協定を山形県生活協同組合連合会と締結しました。

これまでも町では下記4団体と協定を結んでおり、今回の協定で5団体目となります。

2月6日には大津町長と松本山形県生活協同組合連合会会長理事が協定を締結。県内行政機関では17番目となります。

東日本大震災時、同組合連合会は

これまでの中山町と他団体との災害協定

協定締結月	協定先	協定内容
H24年5月	東北カートン(株)	ダンボール製品の提供
H24年6月	中山建設同友会	人員や建設機械等の支援
H24年7月	(株)ヤマザワ	飲食物、日用品等の提供
H24年7月	(株)ヤマザワ薬品	医薬品、救急用品等の提供
H25年2月	山形県生活協同組合連合会	飲食物、日用品等の提供

被災地に物資の搬入やボランティア活動を行ったほか、避難所や仮設店舗の設置に尽力した実績があります。

この協定により町では備蓄品等の保管場所を確保することなく、必要な時期・場所に必要な量を即座に提供してもらえることとなります。

町ではこれからも必要に応じて、災害協定を結んでいく予定です。

松島復興かきまつりで町特産品を販売PR



2月3日、宮城の「かき」の再生と沿岸被災地の復興を願って開催された「第35回松島復興かきまつり」の松島町の会場内に、中山町観光協会が出店し、芋煮、玉こんにゃく、すももポン酢を販売しました。

中山町は昨年度より松島町との物産交流を実施しており、今回も町の観光物産のPRと松島町との交流を継続するためこのイベントに参加しました。当日は晴天でしたが、風が強くなり気温も低かったため、あったかい芋煮や玉こんにゃくは完売となる盛況ぶりでした。

思い出話に花を咲かせて 東京中山会「ふるさとの集い」

首都圏を中心に中山町出身者で組織する東京中山会(秋葉功会長)の「ふるさとの集い」が2月17日、東京都千代田区の都道府県会館で開催され、町からは大津町長、須貝議長ほか12名が参加しました。会場の入り口では漬物などの加工品、すももワイン、地酒「ひまわり娘」などが販売され、参加者は会場に入る前にふるさとの味を買い求めていました。



「ふるさとの集い」が始まると、会場に集まった約130名の会員の皆さんは、酒を酌み交わしながら故郷である中山町をしのび、懐かしそうに語り合っていました。

寄附ありがとう

東京中山会より中山中学校建設に役立ててほしいと、10万円を寄附していただきました。

小林苑華さん(そのか)がスキー大会で全国大会出場

中山1年の小林苑華さんがスキー女子大回転(GSL)で全国大会に出場しました。

小林さんは1月16日に米沢スキー場で開催された「平成24年度全国中学校体育大会第50回全国中学校スキー大会」の山形県予選会でみごと4位で予選通過。2月2日から6日に富山県立山山麓スキー場で開催された全国大会に出場しました。小林さんは「1年生で全国大会に行くという目標は達成したので、次の目標は大きく全国上位入賞、そして全国制覇です」と、これからの抱負を語っていました。

ふるさと納税ありがとう

名古屋市中村区にお住まいの嶋洋さんより、ふるさと納税として1万円を寄附していただきました。

広告

●春のお彼岸セール開催

3月16日(土)・17日(日)
おだんご・仏花等多数ご準備します

●営業時間

3月より 朝9時～午後7時迄

大好評!
日替わり弁当
390円

中山町情報・物産館
Oっと
☎ 023-674-0575

●3月26日の風呂の日は!

大広間イベント午後1時～

はなその竹志乃会 による『舞踊』
大正琴愛好会 による『演奏』

ひまわり温泉
ゆ・ら 会員募集中!
QRコードからアクセス!
株式会社 中山町振興公社 ☎023-662-5780



だんご木市



2月23日、役場前の上町通りで、町観光協会主催の旧正月恒例のだんご木市が開催されました。

主役のカラフルなだんご木のほか、農産物、植木、初あめ、焼きそば、綿菓子などを売る店が立ち並び、買い物客でにぎわいました。また、あったかい豚汁や甘酒の振る舞いもあり、訪れた人たちは買い物の合間に冷えた体を温めていました。

戸籍の窓口

2月届出分

まちの人口 (2月末現在)

人口 12,047人 (前月比-2人)
(男5,867人、女6,180人)

世帯数 3,578世帯 (前月比+3世帯)

人の動き 出生2人 転入20人
(2月届出分) 死亡15人 転出9人

男の料理教室



2月13日、町社会福祉協議会主催の「男の料理教室」が保健福祉センターで開催され、16名の男性が参加しました。

始めに健康を守る食生活についてやこれから作る献立の説明を受け、その後さわらのホイル焼き、根菜の中華風炒め、白菜のピーナッツ和え、クルミ寒天を実際で作ってみることに。日ごろ台所に立つ機会の少ないお父さんたちは、講師の食生活改善推進員の手ほどきを受け、包丁や計量カップなどの調理器具を使って料理作りに奮闘していました。

次の一手は？ 新春町民囲碁・将棋大会



2月3日、新春町民囲碁・将棋大会が中央公民館で開催され、囲碁・将棋それぞれA・Bクラスに分かれ、総当たり戦で対局しました。

参加者たちは、真剣な表情で対局に臨み、盤上では一進一退の攻防が繰り広げられました。熱き戦いを制した方々は次のとおりです。

囲碁・Aクラス		将棋・Aクラス	
優勝	高橋 昭男 (元町)	大泉 時雄 (梅ヶ枝町)	
準優勝	阿部 吉男 (寒河江)	渡辺 寿男 (柳沢)	
第3位	縄野 欣敬 (新町)	横山 洋一 (文新田)	
囲碁・Bクラス		将棋・Bクラス	
優勝	五十嵐忠一 (あおば)	大沼 政廣 (桜町)	
準優勝	五十嵐 潔 (岡)	秋葉 昭男 (新田町)	
第3位	高橋 泰正 (旭町)	小関 孝 (南小路)	



TOPICS ひまわり広場



まちのホットなニュースをお届けします！

皆さんの身近な情報や写真をお寄せください
総務企画課情報防災グループまで
電話662-4899

気分はすっかり消防団員!? なかやま保育園避難訓練

2月26日、なかやま保育園で総合避難訓練が行われ、子どもたちは冬期日中常備消防隊の皆さんから火災などの対応について学びました。

園内に火災報知機のベルが鳴り響くと、子どもたちは真剣な表情でホールへ集合。その後、消防団の方々のお話を聞いたり、消防



車や放水を見学しました。最後は実際に火災現場での格好をさせてもらい、子どもたちは「かっこいい〜!」とすっかり消防団員になったような気分でした。



う〜ん。どれにしようかな？ 長崎小でバイキング給食

2月1日、長崎小学校6年生を対象にバイキング給食が実施されました。

小中学校9年間の学校給食の中で1度だけのバイキング給食とあって、この日を楽しみに



していた6年生。自分が好きなものだけではなく主食・主菜・副菜・デザートといった栄養のバランスを考えたメニューを各自皿に盛り付け、バイキング給食を楽しんでいました。

子育て支援センター ひなまつり



2月27日、子育て支援センターでふれあい広場ひなまつりが開催されました。

お母さんやおばあちゃんと折り紙などを上手に折ったり、台紙に貼ったりしてお雛様を作りました。その後はみんなでひなあられを食べたりと、一足早いひなまつりに大満足の様子の子どもたちでした。